

題 材 名	身近な消費生活と環境とのかかわりについて考えよう		
内容・項目	D 身近な消費生活と環境（１）（２）		
指導時間	9 時間		
題材のねらい (題材の特徴)	<p>ここでは、消費や環境に関する実践的・体験的な学習活動を通して、消費生活と環境についての基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、消費者としての自覚を高め、身近な消費生活の視点から持続可能な社会を展望して、環境に配慮した生活を主体的に営む能力と態度を育てることをねらいとしている。</p> <p>そこで、消費に関わるトラブルについてロールプレイングしたり、実際に商品を手にとって比較検討したり、環境に配慮した生活の計画を立てて実行するなど、実践を積み重ねていくことで、生活をよりよくしようとする意思決定能力と実践力を培っていきたいと考え、本題材を設定した。</p>		
学習の流れ (展開の工夫)	時 間	指導項目	主な指導内容
	1 時間	・自分の生活スタイルを振り返る。	・自分や家族の生活の仕方が環境に影響を与えている例を具体的に取り上げ、問題意識をもたせる。【学ぶエネルギー】
	1 時間	・販売方法や支払い方法について知る。	・販売方法や支払い方法についての利点や問題点について話し合うことで、状況に応じた適切な選択ができるようにする。 【意思決定能力】
	1 時間	・消費者トラブルについて考える。	・ロールプレイングをすることで、消費者トラブルについて実感を伴った理解をし、販売側の視点に気づかせる。【かかわり】
	1 時間	・消費者の権利と責任について考える。	・身近な事例について考えることで、責任ある消費行動をとろうとする気持ちをもたせる。 【学ぶエネルギー】
	1 時間	・商品の情報を集める。	・実際の商品を観察し、様々な表示があることに気付く。【かかわり】
	1 時間	・身近な商品を適切に選択しよう。	・様々な場面設定のもとで身近な商品の選択をし、自分が商品を選択することに関心をもてるようにする。【学ぶエネルギー】 ・適切な情報を収集・整理し、適切な選択ができるようにする。【意思決定能力】
	1 時間	・商品の適切な選び方を話し合おう。	・自分や家族の生活を考えて商品の選択をすることができる。【かかわり】
	1 時間	・環境に配慮した生活の計画を立てよう。	・環境に配慮した消費生活について意見を交換することで、今後の生活の中に環境への配慮の視点が加えられるようにする。 【意思決定能力】
	1 時間	・環境に配慮した生活の実践報告会をしよう。	・環境に配慮した生活を行うことの必要性に気付く、今後の実践につなげられるようにする。 【かかわり】
準備・材料等	商品，ワークシート，商品カード，教科書，なめがた安心安全くらしの読本		